



活力と魅力あふれる元気なまち

【産業】



《基本施策》

1. 農業の振興
2. 商工業の振興
3. 雇用対策、創業環境の充実
4. 観光振興、シティプロモーション

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題



- 本町の農業は、生産者の高齢化や担い手不足が顕著であり、収益性の高い作物の作付を促し、所得を向上させることにより、生産者を確保していく必要があります。
- 農業経営基盤強化促進法に基づく地域農業の在り方を示した「地域計画」を令和6年度(2024年度)に策定しました。この計画に基づき農地の集積・集約化を目指していますが、担い手不足や地元の意見をどの程度吸い上げることができるかが課題となっています。
- 耕作放棄地や遊休農地を活用するため、「坊ちゃんかぼちゃ」や「まこもたけ」の生産を促していますが、担い手不足により作付面積が拡大していない状況です。
- 地元の地産地消を進める団体や生産企業等により、独自の商品開発を行っています。
- 「里庄まこもたけ」のブランド化が年々進み、顧客が定着していることから、販路等も拡大しています。町内事業者を中心に加工・流通の仕組みが構築されている一方で、町全体での生産量がマーケットのニーズに対応しきれない状況です。生産量の拡大が課題であり、今後の方向性の検討が必要です。
- 荒廃農地の増加により、イノシシ、ヌートリア等の有害鳥獣による被害が深刻化していることから、対策が必要となっています。また、猟友会会員の高齢化や会員数の減少も大きな課題となっています。

基本方針

認定農業者の掘り起こしや育成に努め、耕作放棄地等を利用した農業の経営規模拡大と担い手の育成・確保を推進します。

「まこもたけ」をはじめとした町内の農産物のブランド化を進め、多様な販売ルート
の拡大に対する支援を図ります。

評価指標

指 標	現 状 値	目 標 値
認定農業者数	11人(令和5年度)	11人(令和11年度)
まこもたけ作付面積	2.0ha(令和5年度)	2.0ha(令和11年度)
鳥獣被害防止防護柵設置総延長(累計)	3,560m(令和5年度)	7,700m(令和11年度)

個 別 施 策

（１）農業の担い手の育成・確保

岡山県農業普及指導センターや晴れの国岡山農業協同組合等関係機関と連携し、経営改善についての指導等を通して、認定農業者の掘り起こしや育成に努めます。また、耕作放棄地や遊休農地を活用した農業経営の規模拡大や、「坊ちゃんかぼちゃ」、「まこもたけ」等の収益性の高い作物の作付を促し、農家の所得向上を推進しながら、認定農業者の確保を図ります。

農業委員や農地利用最適化推進委員と連携しながら、新規就農者の確保に努めていきます。

農地中間管理機構を活用し、耕作放棄地や遊休農地の解消に努めていきます。

【主な取組み】

◆担い手の育成・確保

（２）生産基盤の拡充

農業委員や農地利用最適化推進委員と連携しながら、新規就農者の確保に努めるとともに、新規就農者に対して段階的に農地の集積・集約化を図るため、地権者と新規就農者の橋渡しを行います。

町内における重点地域を「地域計画」で指定し、高齢等で耕作できなくなった際に、次の生産者へスムーズに引き継がれるよう農地利用の将来図となる目標地図を作成し、地域の農業の将来を守る取組みを活性化します。

【主な取組み】

◆農地の集積・集約化

（３）特色ある地域農業の振興

農産物の付加価値を高めるため、農商工連携を進め、食品産業等様々な業種・団体と連携し、情報提供や専門機関の紹介等を通して、新たな商品開発への取組みに対する支援を行います。また、イベントや様々な媒体を使って、商品等のPRを継続的にを行います。

生産者と消費者との結びつきを強化し、販路拡大や農業関連事業の振興による地域の活性化を図るため、学校給食における地域農産物の利用を継続して行い、椿生活交流グループと連携した新規メニューの開発や普及等地産地消に関連する事業に対し、必要な支援を行います。

果樹類等の地場産品のブランド化を目指すため、生産者等が晴れの国岡山農業協同組合や民間事業者と連携して行う商品開発やブランド化、販路開拓等の取組みを支援します。また、6次産業化※
できるような新たな農産物の検討を行います。

【主な取組み】

◆商品開発への支援 ◆地産地消の推進

◆農業の6次産業化の推進 ◆果樹類等の地場産品のブランド化

（４）地域に合った営農体系の確立

「まこもたけ」については、新規生産者への効率的な生産方法や買取先の紹介等積極的な情報提供を行います。また、生産者同士の情報交換の場を提供し、情報共有による町全体の生産性向上に向けた支援を行います。その他、収益性が高い作物については、地域農業再生協議会において作物を定め、国の交付金等を活用しながら、産地化を推進します。

【主な取り組み】

◆農業経営安定化と産地化

（５）有害鳥獣の被害防止

自分で農作物を守るという自己防衛が何より必要であるため、広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ等を通して防護柵設置補助金の周知に努め、防護柵の設置を支援します。加えて、有害鳥獣の捕獲駆除や狩猟免許取得費に対する補助を継続し、猟友会による有害鳥獣の捕獲駆除を実施する等、農産物被害抑制を図ります。

【主な取り組み】

◆有害鳥獣の被害防除補助

◆有害鳥獣の駆除への補助

【関連計画】

●地域計画

現状と課題



- 中・小規模事業者においては、事業主の高齢化も進み、厳しい経営環境が続いています。
- 既存工場の町外転出防止と新規工場の立地を促進するため、工場立地法で定める工場敷地内の土地利用制限を緩和しています。
- 製造業については、新たに立地する工場の事業用地が不足しています。積極的な新規立地は望めない状況にあります。既存工場の設備投資や人材確保等に対し、効果的な支援を行っていく必要があります。
- 企業支援として、浅口商工会等と連携し、イベントやプロモーションの実施、町内企業への経営支援、販路拡大支援、金融支援等に取り組んでいます。各種イベントやプロモーションについては、事業者の主体的な参加や事業者間の連携強化を図りながら、町内への経済効果を波及させていく必要があります。
- 後継者不足等の課題やデジタル化等への対応について、浅口商工会や金融機関等と連携して支援を行っていく必要があります。
- 本町の商業、工業、農業の地域資源の魅力をPRするため、毎年11月3日(文化の日)に産業文化祭を開催しています。

基本方針

商工業については、浅口商工会等と連携し、地域に密着した商工業の振興に努めるとともに、特産品開発等魅力ある地域資源の掘り起こしに努めます。

また、工作機械、電子部品、食品、医薬品等を中心とした地域の基幹産業の事業拡大等を支援するとともに、浅口商工会等と連携し、中小企業の経営支援及び創業支援等による地域経済の活性化に努めます。

評価指標

指 標	現 状 値	目 標 値
製造業事業所数	35事業所(令和5年度)	35事業所(令和11年度)
浅口商工会(里庄地区)会員数	169人(令和5年度)	170人(令和11年度)

(1) 商工業の振興

商工業振興の中核である浅口商工会に対しては、施策の連携等により支援を行います。

浅口商工会、(公財)岡山県産業振興財団、地元金融機関等と連携し、経営発達支援や販路開拓支援、金融支援等、既存企業の持続的な発展に向けた取組みを支援します。また、各種イベントやプロモーションをはじめ、あらゆる機会を通して、事業者の主体的な参加や連携強化を図ります。

企業立地については、店舗・工場・営業所等の新設・増設に対し、引き続き丁寧に相談に応じ、奨励金の支給や用地確保、インフラ整備、雇用確保等の支援を行います。

【主な取組み】

- ◆販路開拓に対する支援事業補助金
- ◆里庄町小規模企業対策資金保証制度の運用
- ◆里庄町中小企業設備資金利子補給金の交付
- ◆里庄町企業立地促進奨励金の交付
- ◆里庄町企業育成振興条例に基づく支援

(2) 魅力ある地域資源の再発見

本町の商業、工業、農業の地域資源の魅力をPRするため、毎年11月3日(文化の日)に産業文化祭を開催しています。地元特産品等を活用した料理や加工品の展示販売を行い、商工業等に興味を持ってもらえるよう地域資源の活用と魅力の発信に努めます。

また、文化協会による芸能祭や作品展示も同時に開催することで、より効率的な集客に努めます。

【主な取組み】

- ◆産業文化祭の開催

【関連計画】

- 浅口市・里庄町創業支援等事業計画

基本施策 6-3

雇用対策、創業環境の充実

現状と課題



- 本町においても、全国的な人手不足の影響を受けており、今後も若者の都市への流出を防ぐために、積極的に雇用対策、創業環境の充実に努める必要があります。
- 広域で連携した就職説明会等のイベントを開催していますが、生産年齢人口の減少等による人材不足のため、全般的に求職者の確保が難しい状況にあります。
- 就職情報サイトや就職イベント等、企業の求人に関する情報発信を支援するため、求人情報発信支援事業補助金を交付しています。利用は増加傾向にある一方で、全国的な人手不足の影響により、必ずしも採用に結びつかないことが課題となっています。
- 浅口市と共同で策定する「浅口市・里庄町創業支援等事業計画」に基づき、浅口商工会や金融機関等と連携し、セミナーの開催や相談窓口の設置等の創業支援を行っています。

基本方針

雇用環境の充実について、企業が安定的な操業を続け、若者の都市への流出を防ぐため、就職説明会等のイベントを広域で開催するほか、魅力ある町内企業のPRに努めます。

創業環境の充実について、新規創業者に対し、浅口商工会や金融機関等と連携し支援を行います。

評価指標

指 標	現 状 値	目 標 値
町が連携して開催する就職説明会等へ参加する町内事業所数	15事業所(令和5年度)	20事業所(令和11年度)

(1) 雇用対策

高梁川流域、井笠圏域で連携した就職説明会等のイベントを継続して実施し、若者に地元企業を知ってもらうとともに、地元への就職を促進します。

求人情報発信支援事業補助金の交付により、町内企業への雇用促進を目的とした企業支援を行います。

【主な取り組み】

- ◆高梁川流域就職面接会の開催
- ◆求人情報発信に対する支援
- ◆井笠圏域で連携した就職説明会の開催

(2) 創業環境の充実

浅口市と共同で策定する「浅口市・里庄町創業支援等事業計画」に基づき、浅口商工会、金融機関及び(公財)岡山県産業振興財団と連携してワンストップ^{*}相談窓口を設置し、創業者が抱える販路や資金調達等の課題に応じた適切な対応を行います。

また、(公財)岡山県産業振興財団等が実施する創業支援に関するセミナー・研修を通して、創業者が経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識を習得できるよう、連携して支援を行います。

【主な取り組み】

- ◆ワンストップ相談窓口の設置
- ◆創業支援に関するセミナー・研修の実施

【関連計画】

- 浅口市・里庄町創業支援等事業計画

現状と課題



- 本町は、豊かな自然があり、仁科芳雄博士や小川郷太郎博士等の偉人を輩出してきた歴史があります。近年では、「里庄まこもたけ」等の地域の特産品づくりが進められています。
- 平成12年(2000年)に誕生したイメージキャラクター「里ちゃん」、平成28年(2016年)に誕生したまこもたけキャラクター「まこりん」は、各種イベントで活躍し、人気を得ています。
- 観光誘客の取組みとして、産業文化祭やスタンプラリーの開催、東京にある岡山県アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」でのフェア、その他イベントへのブース出店等を実施しています。
- 観光PR活動として、ホームページでの観光情報の提供、観光パンフレットの作成等、積極的な情報発信を実施しています。
- 各方面で活動している里庄町出身のアーティストたちの活躍により、里庄町の知名度は全国的にあがっています。今後もさらなる飛躍を期待するとともに、この機会にもっと多くの人に里庄町の魅力を感じてもらうために、イメージキャラクターの紹介や商品等の販売を含めてPRに力を入れていく必要があります。
- 広域の強み・魅力を生かした事業として、井笠広域観光協会の3市2町が連携し、グルメサイトの開設や周遊を促すイベント等を実施しています。また、高梁川流域観光振興協議会では、地域内の観光サイトの開設や観光素材を旅行会社へPRする事業等を実施しています。
- 本町の魅力を発掘・創出し、里庄町のブランドイメージを形づくり、町内外へ効果的に発信する「シティプロモーション」の考え方を取り入れていくことが必要です。
- ふるさと納税は、前期基本計画初年度の令和2年度(2020年度)には約7,300万円でしたが、返礼品の充実等により令和5年度(2023年度)には5億円を超え、町内企業の商品等の魅力発信につながっています。

基本方針

里庄町の歴史、文化、スポット、特産品等の魅力を積極的に町外へ発信するとともに、岡山県や井笠圏域・高梁川流域等との広域連携での取組みを進め、エリア全体での観光誘客を促進します。

シティプロモーション等を推進し、まちの魅力を高め、発信することにより、認知度とイメージを高めるとともに、町民が里庄町に誇りを持つ「シビックプライド」意識の醸成を図ります。

里庄町のブランドイメージを高めることにより、観光客や移住者に限らない、里庄町と継続的なつながりを持とうとする「関係人口」を増やしていきます。

評価指標

指標	現状値	目標値
観光入込客数	6,650人(令和5年度)	7,000人(令和11年度)
町が企画・実施する事業に参加する町内事業者数	55事業者(令和5年度)	60事業者(令和11年度)
観光関係ホームページの年間表示回数	139,900回(令和5年度)	200,000回(令和11年度)

個別施策

(1) 観光・交流推進体制の整備

本町の歴史、文化、スポット、特産品等の魅力発信を行うため、見せ方や楽しみ方等の工夫を図りながら、スタンプラリー等のイベントやキャンペーンを開催していきます。また、令和6年度(2024年度)に新たに作成した観光ガイドブックを活用し、本町を訪れた観光客の満足度を高めることができるよう取り組みます。

ホームページや観光イベント、東京都にある岡山県アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」等を活用したPRを行い、本町のアピールポイントを積極的に情報発信します。

井笠広域観光協会において、広域連携による周遊を促す事業等により、町内に観光客を呼び込めるよう努めます。併せて、高梁川流域観光振興協議会における事業の活用と参加自治体との連携強化を図り、観光客の増加につなげます。

【主な取り組み】

◆観光PR活動の推進
◆イベント・キャンペーンの実施

◆広域連携を生かした観光事業の参加

(2) シティプロモーション・シビックプライドの醸成

里庄町の認知度とイメージを高めるための取り組みを総合的・戦略的に実施し、まちの魅力を発信する「シティプロモーション」を推進します。

また、町民一人ひとりに里庄町に対する愛着や誇りを抱いてもらうため、「シビックプライド」の醸成にも取り組みます。

ストーリーテリング*の手法をPR活動に取り入れ、里庄町のブランドイメージを高めることにより、観光客や移住者に限らない、里庄町と継続的につながりを持とうとする「関係人口」を増やします。

また、飲食店等を中心とした里庄町の魅力発信を続けることで、地域経済の循環を促します。

ふるさと納税については、制度の周知を行い、広く寄附を募ります。また、返礼品の充実を図るとともに、町内企業の商品等の魅力を発信します。

【主な取り組み】

◆商品開発・ブランド化の支援
◆グルメプロモーション事業の推進

◆ふるさと納税の推進